

苦小牧市長 岩倉博文様

シルバー人材センターへのご支援についての要望

盛夏の候 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また平素から、当センターの運営につきましては特段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年少子高齢化が進み人口が減少していく中で、働く意欲のある高齢者が年齢に関係なく活躍し続ける「生涯現役社会」を実現することが今まで以上に重要となっています。このような中、シルバー人材センターは高齢者の就業を通して、高齢者の生きがいや健康の増進と、地域社会の活性化に貢献したいと考えております。

当センターとしては、会員数の拡大に努めるとともに、会員が培ってきた技能や知識を活用することで、地域に必要な団体として市民の期待に応えていきたいと考えております。つきましては今後もこの目標達成に向けて役職員が一丸となって取り組んでまいりますので、下記の項目につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 令和6年度補助金の確保

従前から苦小牧市からの運営補助金については、国の基準に則ってセンターが国に申請する補助金額と同額を交付いただいているところです。市民ホール建設等で厳しい財政状況の中大変恐縮ですが、令和6年度につきましても是非確保いただきますようお願い申し上げます。

2 公共事業の発注の確保

高齢者が行うことが可能な業務につきまして、以前より苦小牧市から様々な業務を受注させていただいております。今後も当センターの目的をご理解いただき、シルバー会員のできる業務があれば、発注の際には特段のご配慮をお願い申し上げます。

3 センター事務所の確保

当センターが事務所として使用させていただいている苦小牧市労働福祉センターは、市民ホール建設に際して統廃合の対象となっていることから、活動拠点としての十分なスペースの確保につきましては、特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和5年7月27日

公益社団法人 苦小牧市シルバー人材センター

理事長 守屋久義

苫小牧市長

岩倉博文様

地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展している中で、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現が求められています。

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」において、七十歳までの就業機会の確保が企業の努力義務とされていますが、シルバー人材センターについても、人手不足分野等での就業機会の開拓・マッチング機能や地域ごとの実情を踏まえた積極的な取組の強化が求められています。

このため、国の施策の実現や、地方自治体の施策、地域社会の期待に応えるべく、私たちは今、平成三十年から令和六年度までの七年間を期間とする「第二次会員百万人達成計画」を踏まえ、会員拡大、とりわけ女性会員の拡大や企業退職（予定）者層への働きかけの強化の取組を強力に推進しているところであり、いくつになっても活躍できる就業機会の創出に努めています。こうしたシルバー人材センターにおける就業やボランティアなどの様々な活動は、SDGs（持続可能な開発目標）と深くつながるものであり、積極的に推進してまいります。

また、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

① 介護予防・日常生活支援総合事業、介護施設の介護の周辺業務の切り出し等による要支援高齢者に対する支援事業

② 放課後児童クラブの担い手など子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業

③ 人手不足や働き方改革に取り組み地元企業に向けたシルバー派遣等の事業

④ 空き家管理・墓地清掃、遊休地を活用した農園等の独自事業を通じた地域の課題解決に資する事業等を重点に取り組みとともに、経営基盤の強化を目指して、シルバー人材センターのデジタル化を進め、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果たしてまいります。

つきましては、令和六年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望いたします。

特に、国においては一般会計をはじめとした補助金の確保、新たに独自事業への立ち上げの支援、また、都道府県・市区町村においても、厳しい財政事情の中ですが、国の補助金と同額以上の補助金の確保や、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望いたします。

なお、本年十月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が施行されると、免税事業者である会員と取引関係にあるシルバー人材センターには新たな税負担が発生するなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しさを増しています。このため、地域社会に貢献するシルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となり、経営基盤の強化につながる措置を要望いたします。

令和五年七月二十七日

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
令和五年度 定時 総会

公益社団法人苫小牧市シルバー人材センター